

公表

事業所における自己評価結果

公表日

2025年 7月 22日

事業所名		公表日				
ハッピーテラスキッズ葛飾金町ルーム		2025年 7月 22日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		トレーニング内容に応じて、レイアウトを変更するなど、お子様が集中しやすい環境設定を心掛けています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		質の高い療育の提供を目指し、指導員2:生徒10の配置基準を上回る、3:10の体制を基準に配置しトレーニングを実施できるよう努めています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		<input type="radio"/>		事業所内の段差、手すり、廊下の広さ等の設備面でのバリアフリー化はなされておらず、今後見直しを図っていく予定です。一方、時間や空間が分かりやすい構造化された環境づくり、座席の配慮等、お子様の特性を踏まえ、一人ひとりに合わせた支援につなげていけるよう努めています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		事業所内のレイアウトや装飾面は、お子様や保護者が心地よく過ごせる工夫をしています。基本的な清掃は毎日実施をし、社内基準に定められた清潔空間を保つようにしています。また、見学者にウォーターサーバーを設置し、皆様がいつでも水分補給ができるよう、環境を設定させていただいています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		全ての指導員が、運営改善を進められる職場環境をつづけている他、利用者に向けたアンケートの実施により客観的な評価視点を加え、PDCAサイクルにより、業務改善・品質向上に努めています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		保護者の意向や満足度の把握に努めるため保護者向け評価表の他、ソーシャルバクトアンケートを実施しています。いただいたご意見に対し、適宜検討をし、業務改善を行っています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		第三者による外部評価は行っておりませんが、今後取り組んでいく方針です。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		本部研修、社内研修、区、都の主催する勉強会、有償の外部研修等多岐にわたる研修、勉強会を年間を通して計画し、支援の質の向上のための取り組みを行っています。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		お子様自身の発達の状況や家庭での状況、保護者の意向を適切に把握することで、個々に合った支援計画の作成に努めています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		定期的に支援計画策定会議を開催し、児童発達支援管理責任者、職員間で、お子様の最善の利益を考慮した検討を行った上で、支援計画を作成しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		定期的に支援計画策定会議を開催し、児童発達支援管理責任者、職員間で、計画内容や手立てを共有した上で、毎回、支援計画に沿った支援を提供しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		児童発達支援計画は、保護者へのアセスメントを適切に行い、ご家庭のニーズや課題を客観的に分析した上で、お子様が家庭や地域社会における生活を通じて、様々な体験を積み重ねられるよう考慮し、作成しています。	

の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		児童発達支援計画に基づく支援の経過状況や課題を考慮し、個別療育の担当指導員や小集団クラスの担当指導員がプログラムを考案しています。それを基に、適宜チームで検討や共有を行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		お子様の発達や課題に合わせた様々なプログラムを組み立てる工夫をしている他、活動中での経験が活かされてしまうことがないよう、プログラムの提供を行っています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		チームで支援効果を高めることができるよう、支援に関わる指導員間でトレーニングの内容やお子様の様子を共有できるように努めています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援に関わる指導員間で振り返りを実施し、多角的に気づきを共有し、各々が共通理解と共通認識を持って、次回からの支援に臨めることができるよう努めています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援記録を取ることを基本に、前回利用時との比較や、その日の状況を毎回詳細に記録するよう努めています。また、記録は児童発達支援計画の検証にも使用し、期間ごとの評価にも活かしている他、振り返りとしてまとめて保護者にお渡ししています。	
	23	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		4ヶ月に一度以上の頻度で定期的なモニタリングに併せて、支援記録の評価を根拠に、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○		対象の児童がいないため、現状では連携を図ってはいませんが、適宜地域の保健所、医療機関、他事業所、幼稚園・保育園、学校等との連携をとれるよう準備はしています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		他事業所との併用をされているお子様に対し、適宜事業所間の連携をとり、情報の共有に努めています。また、必要に応じ、保育所や認定こども園、幼稚園等との間で、支援内容や活動時の様子の共有と相互理解を図っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		就学引継会への出席、書面での情報提供の協力をしています。それにより相互理解を図り、円滑に支援が引き継がれるよう努めています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	○		区内の連絡会への積極的な参加を含め、各専門機関との連携強化に努めています。また、支援に関し、当事業所専属アドバイザーの公認心理師・臨床心理士に相談をしたり、助言を受ける機会を設け、支援力の向上に努めています。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		ご利用いただいている児童の多くは、保育園や認定こども園、幼稚園等に通園しているため、サービス提供時間内に他のお子様と活動する機会は設けていません。今後要望があれば検討します。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		療育提供後に、保護者とお子様の状況を共有する時間を設けています。療育の様子やご家庭での様子を伝え合うことで、共通理解を図るよう努めています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		療育提供後に、保護者が困りごとを相談できる時間を設け、お子様だけでなく、ご家族も支援できる体制をとっています。また、定期的に無料発達相談会を開催し、公認心理師・臨床心理士に直接相談をしたり、助言を受けられる機会も提供しています。今後は、新たな保護者向けイベントとして、研修会の開催を検討していく予定です。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		ご契約の際に、お子様や保護者が児童発達支援を適切かつ円滑に利用できるよう、丁寧に説明をしています。	

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		毎回、保護者から提出いただいたアセスメントシートを基に、児童発達支援計画を作成しています。保護者から署名をいただく前に、原案を作成し、お子様と保護者の意向に沿っているか、内容を確認いただいた上で、正式に署名をいただいています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		平日に閉じてのみ、ご利用のお子様に対し、担当する指導員を決め、同じ指導員が継続してお子様を見ていくことで、相談を受けた際に必要に応じた助言ができる体制を整えています。また、保護者が悩みごとを、自身で抱え込まないよう適宜相談に応じ、信頼関係の構築に努めています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		現在、葛飾金町ルームでは、保護者会等に関して「必要ない」のご意見が複数あるため、父母の会や保護者会等の開催をしていません。今後は講演会(勉強会)の開催を通し、保護者やきょうだい同士で交流できる場を検討し企画していく予定です。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		無料発達相談会や避難訓練開催の案内・活動報告を、当日の様子を映した写真を添え、ホームページにて発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		書類等は鍵付きキャビネットに保管したり、各PCにもパスワードを設定したりする等の対策を講じています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	現在、葛飾金町ルームでは、定期的に無料発達相談会を開催し、多くのご家族にご参加いただいています。より多くの方々にご参加していただけるよう開催頻度や参加人数に関し、今後検討していく予定です。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルの策定し、職員は定期的に訓練を受けております。今後は、ご家族が手に取って閲覧しやすくなるようなコーナーの見直しを順次行っていく予定です。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画(BCP)を策定するとともに、定期的に訓練を行っています。また、緊急避難場所の説明に関しては、契約の際に保護者にお伝えをしています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	現在、葛飾金町ルームでは、食事を提供していないため、医師からの指示書はいただいていません。アレルギーの有無については、アセスメントシートを通し、ご利用いただいている全てのお子様に対し、確認しています。また、アレルギーに配慮し、教室内は食事を禁止とさせていただいています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画を作成し、計画に基づく取り組みを定期的に行っております。今後は、計画の内容をご家族が手に取って閲覧しやすくなるようなコーナーの見直しを順次行っていく予定です。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット発生の当日中に、事業所内で分析、検討を行い、報告書を作成しています。分析をする際には、再発防止に向けた是正処置も併せて、検討をし、指導員及び全社での共有を図っています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年1回以上虐待防止研修等の機会が確保できるよう努めていると共に、職員一人ひとりが、虐待防止チェックリストを実施し、それをもとに教室としての評価・改善に取り組んでいます。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		○	現在、身体拘束を必要とするお子様の利用がありません。他害自傷行為等が事前に想定できる子どもに関しては、児童発達支援計画に記載することとしています。	